海軍施設技術部隊

戦略計画　2005－2011

技術革新　リーダーシップ　業績

1322 Patterson Avenue SE, Suite 1000
Washington Navy Yard, DC 20374-5065
Innovation Leadership Performance
HTTP://WWW.NAVFAC.NAVY.MIL

戦闘即応性の確立 海軍施設技術部隊シービーレディネスとオシュコシュトラック社は中型戦術車両更新車(MTVR)を米海軍シービーに供給する契約が成立したことを発表した。MTVRドラムダンプトラック、MTVRレッカー、新型MTVRトラクターらが含まれる。写真はシービー重機を牽引する典型的な様子。

目次:

海軍施設技術部隊戦略計画 2005-2011

5. 大規模な再編： 私たちは、より速く、よりよく、より確実に発展する

7. 海軍施設技術部隊のミッション： 私たちは戦闘員のエンジニアプロ集団

9. 業務指針: 私たちは変化をリードし、技術革新を指示する

11. 従業員: 私たちは非常に有能な、艦隊に焦点を置いたエンジニアリングチーム

13. プロセス: 私たちの再編目標/目的は、経済効果性の向上とビジネスラインによる管理である。

15. 顧客: 私たちの成功は顧客の成功あってこそ

17. 業務: 私たちは役立つ施設と非常時対応支援を提供する

19. 統合中核能力:私たちの能力は戦闘員に焦点を当てている

21. 再編: ビジネスラインマネージメント、相互協力部隊

22. 機能上の整列: マトリックスにおける業務

23. 構造上の整列: 海軍施設技術部隊再編の本質

大規模な再編
我々は、速いペースで、歴史的な再編に取り組んでいます。
我々の戦略上のパートナーである海軍基地司令、海兵隊本部、海軍補給システム部隊とともに、組織を再構築し、ビジネスラインリーダーシップを改革し、ワールドワイドにビジネスプロセスを改良し、PWDを海軍施設技術部隊組織の一部に組み入れてきました。
各海軍地域で海軍施設技術部隊パブリックワークス、エンジニアリング、調達サポートの唯一の窓口である施設技術部隊を設立します。
組織上・機能上の調整により、我らのスーパースターであるあなた方はさらに強力になり、権限を与えられます。劇的に海軍-海兵隊チームへの貢献を強め、より生産性と責任能力を向上させ、無駄を省き、コストを大幅に削減し、余剰を海軍と海兵隊に還元します。
海軍と海軍施設技術部隊は、 天賦の才ある、質の高い人材に恵まれています！我々の組織上、機能上の調整により、我々は最大の再編、純粋なコミュニティーマネージメントを創造し実践することになります。あなた方のリーダーと私は、個人として、またプロとしての能力を最大限に開発し、行く手を阻む障害を排除し、発想、エネルギーや情熱を自由にすることを約束します。
特に、現場の従業員にもっと権限を与えたいと思います。それにより、大胆で、プロセスと仕事のやり方に劇的な改善をもたらし、地域統合エンジニア概念の真の可能性を達成する助けとなります。あなた方がいるのは実践の場です。
再編により、あなた方は大きな権限を与えられます。再編は前向きであり、普遍のものではありません。私の権限をあなたに、水兵に、海兵隊員に、与えるものです。 この戦略計画は私たちの再編の基礎となるものです。 この戦略計画の配布が初めの第一歩です。
あなた方のスーパーバイザと上層部はこの計画にどのようにあなた方を合わせていかれるか、それがあなた方の立場にどう関係してくるか、あなた方の個人的な業務成績と褒賞にどう関連付けられるか、あなた方と話し合うことでしょう。
最後に、私は、あなた方をこれ以上ないほど誇りに思っています。私たちはレーザーで焦点を合わせ、機能上の基礎を固め、あなた方の情熱、強さ、才能を最大限に増大する組織としての部隊の体質、および文化を醸造することを約束します。
あなた方の大きな可能性や海軍と海兵隊に尽くす、すばらしい貢献を見失わないでください。
成功はあなたから始まりあなたで終結します。さあ、はじめましょう。
本当にありがとう！

海軍施設技術部隊司令官
海軍施設技術部長
米海軍土木技術士官　マイケル　K.　ルース少将

統合中核能力は、米国の戦闘員に付加能力と付加価値をもたらす

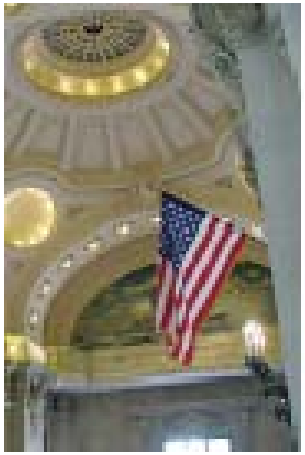
海軍施設技術部隊のミッション

私たちは海軍および海兵隊の戦闘即応性のために尽くす、
海軍の施設エンジニアプロ集団です。

私たちは次のとおりです：
艦隊に焦点を当てている。革新的である。人材の流動性を持つ。
即応性がある。連続的な経費削減に尽くす。

私たちは貢献します：
海軍と海兵隊のコンバットチーム
連合部隊
国防総省の各機関

私たちは提供します：
私たちのビジネスラインによる最高品質の施設エンジニアリングと調達業務
資本改善
パブリックワークス
環境
基地開発
不動産
非常時対応エンジニアリング



海軍施設技術部隊は伝統あるアナポリス海軍兵学校の優美なバンクロフトホールを細心の注意を払い九段階にわたり修復した。

海軍施設技術部隊は、戦闘員をサポートする。新兵訓練第一日目のそのときから。

業務指針：

緊迫感を持ち、変化をリードする。
技術革新と改良をすばやく支持する。
海軍と海兵隊のチームのミッション達成を約束する。

私たちが毎日仕事に来るのは:

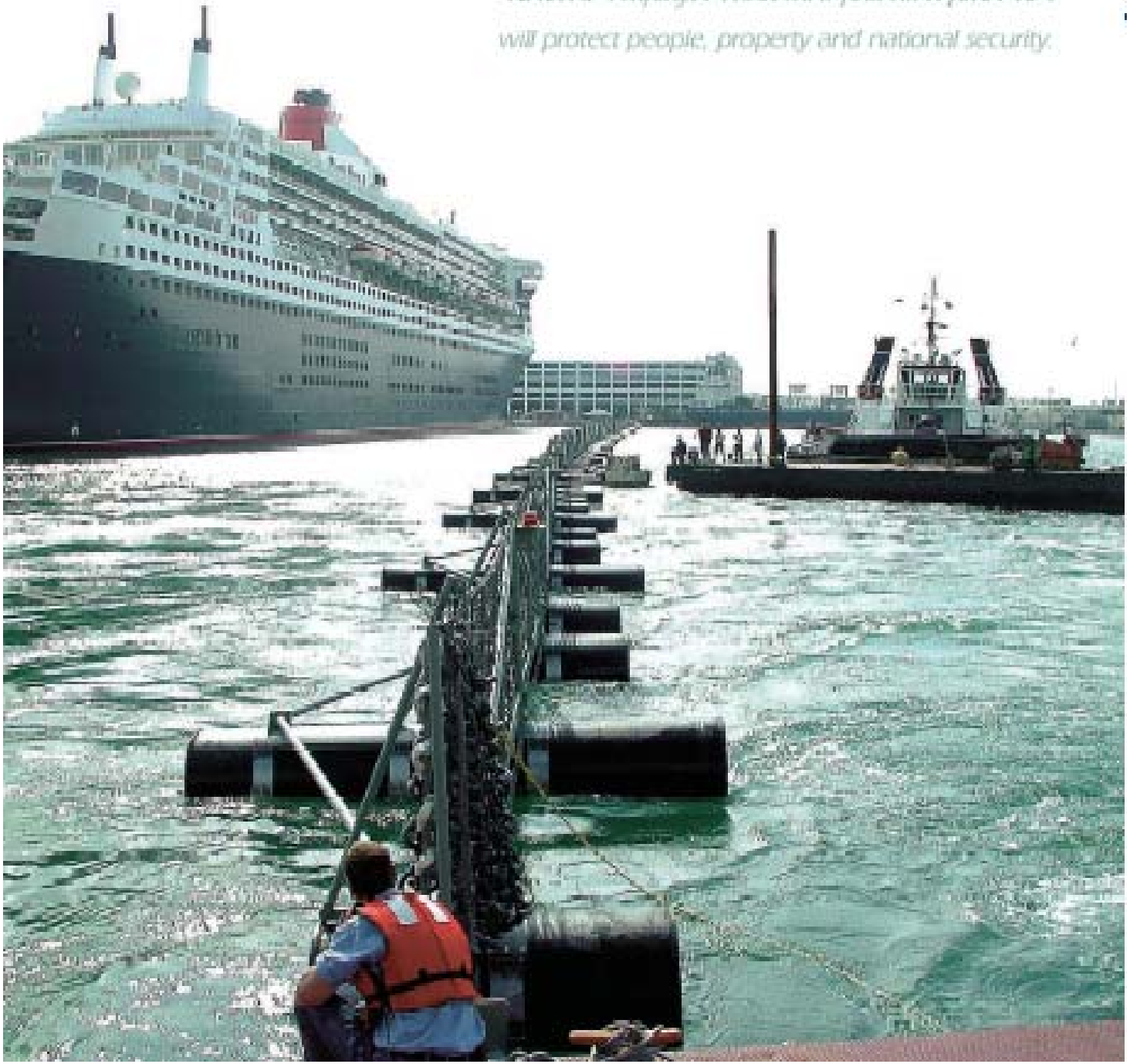
改革への障害を取り除くため。

従業員の発想を自由にし、励ますため。

創造的な解決策と新しいプロセスを生み出すため。

個人としてプロとして成長、発展するため。

NAVFAC employees and their patented procedure will protect people, property and national security.



従業員

動機付けされたプロフェッショナル・グローバルチームを確保し、育成し、導く

施設チーム目標

我々は、海軍及び海兵隊の戦闘即応性に直接貢献する、高い技術を持つ、艦隊支援を目的とした施設技術部隊である。

戦略

労働力に関する計画.　従業員を戦略計画やビジネスライン計画にリンクさせるプロセスに組み込む。我々が有能で特異な軍人、米政府職員、契約従業員など、適切に混成された労働力を確保、育成し、維持していることを再評価し続ける。

能力開発.　タスクフォースエクセルを一体化し、人員の育成と能力開発をよりスムーズにするためにコミュニティー・マネジメントを継続して進化させる。戦略計画、コミュニティー・マネジメントプラン、NAVFAC従業員査定及び能力開発システム（NEADS）及びIDPをリンクさせ、トレーニングと能力開発の機会を調整する。従業員の　免許登録、資格取得、教育レベルを向上する。

コミュニケーション.　コミュニケーションを向上し、どの組織レベルにおいても戦略計画で取り決められた目標を軍人、政府職員及び契約従業員が一体となって達成に取り組むことを確認する。改善を促進するためにFacTS意識調査を利用する。

統合.　継続して再編して行くにあたり、チームが一貫性のある包括的な人事方針を取り入れる。

成果主義による人事考課.　すべての従業員にに対する人事評価が、部隊目標に対する個人の成果と明確にリンクさせることを確認する。従業員に対する期待を高く持ち、彼らの貢献を適切に賞賛する。

質の高い職場.　安全で効率性が高い職場環境を提供する。

評価基準のカテゴリー

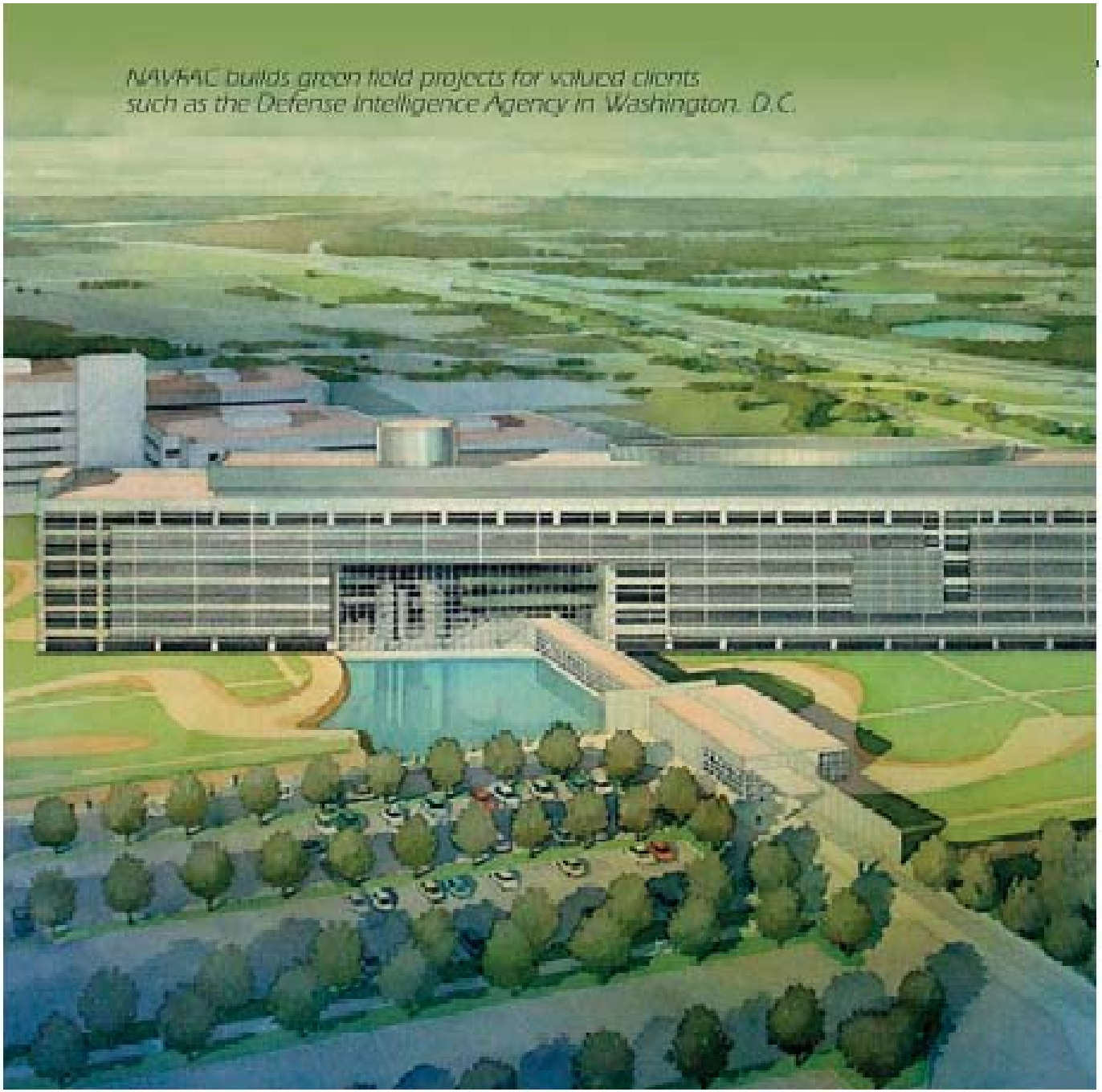
Ｐ－１：適切に調整、具体化された労働力.　コミュニティーマネジメント労働力の具体化、キャリア管理及びリーダーシップ目標の達成度を評価する。

Ｐ－２：キャリア開発.　NEADSとコミュニティー・マネジメント評価基準を使い、能力開発の向上性と効果性を評価する。

Ｐ－３：資格取得.　免許登録、資格、証明及び学位の取得率を計測し、向上する。

Ｐ－４：従業員満足.　FacTS従業員意識調査の結果を利用して、改善することにより従業員満足度が向上する。

海軍の高官は、斬新で革新的なNAVFACのコミュニティーマネジメントを絶賛している。


NAVKAC builds green field projects for valued clients
such as the Defense Intelligence Agency in Washington, D.C.

プロセス

経済効率、ビジネス・ライン管理、再編と顧客中心主義

施設チーム目標

民間でいう事業部門に値する我々のビジネス・ラインの管理は価値の高いサポートの提供と世界レベルで積極的に行われている革新を約束し、経費削減と節約を実現する。

戦略

ビジネス・ライン管理. ビジネスラインやサポートラインは基本的にその事業部門において、すべての機能調整や、プロセス、革新及び資源管理を実行する。ビジネスラインとサポートラインは生産性や品質、回転率を管理するために、アウトプット評価基準の測定を導入する。

プログラム管理. プログラムは費用対実行能力を検討し、管理及び実行される。即戦能力を向上するために、プログラムの条件としてリスクを考慮するとともに節約を実現する。

統合. ビジネスラインがその事業部門すべてを統括する。公共事業管理を統合及び再編し、海軍において効率性と効果性の向上を実現する。

技術革新. ビジネスライン及びサポートラインでは率先して再編業務に着手し、海軍施設技術部隊に迅速に多くの改善をもたらす。

投下資本利益率(ROI). それぞれのビジネスライン及びサポートラインで経営資源と総運営費用／投資を分析し、高い生産性と回転率の改善を実現する。

組織分割. 我々が最高の製品及びサービスの提供者であるかどうか確認するために、我々の製品及びサービスを分析する。もし我々がそうでない場合、最高に価値のある製品及びサービスを提供するため、適切にその事業部門の組織分割、アウトソース、調整または民営化を行う。

IT. 全事業部門においてITシステムを有効活用し経費削減および標準作業、ワーク・コントロールまたは財務管理のような一般的なプロセスを可能にする。NAVFAC ITシステムの互換性と顧客の参画を向上させる。

評価基準のカテゴリー

Pr－1 生産性と回転率. ビジネス・ラインの“ダッシュボードメトリックス”を利用することにより、経費削減、生産性及び回転率の改善を実現する。

Pr—2 プロセス. 標準化、運営及びプログラム経費を監視し、プロセス改善を評価し、我々のビジネス管理システムに最良の慣行を組み込む。

Pr－3 IT. ITシステム実行を監視し、効率性とROI向上の機会を見いだす。

Pr－4 民営化. 節約、コスト回避、財務レバレッジ*やROIを監視する。

*自己の正味資産に対する借入金の比率

NAVFACは歴史的に前線における技術管理をリードし続けてきた。

Our experts provide warfighter support from the ground up.

顧客

顧客の成功は我々の成功である。

施設チーム目標

調整、統合された我々は海軍、海兵隊チームにおいて重要な役割を担う一員である。

戦略

調整. 海軍基地司令（CNI）、海軍補給システム部（NAVSUP）及び海兵隊司令部（HQMC）と協力して基地施設設備の必要性を予想し実行する。高価値、完全な解決を通して すべての顧客ニーズに効果的に応える。

ワンタッチの施設支援. “ワンタッチ”でNAVFAC傘下におけるすべての部隊が、顧客のニーズに応えるために力を尽くすことを約束する。

顧客・コミュニケーション. 顧客が、価格情報やプロジェクト進捗状況などの情報を容易に得ることができるようにすることを約束する。

顧客中心主義. 部隊やビジネスライン・リーダーは顧客の意見に耳を傾け、調整を継続し、タイムリー・サービス、クォリティー・サービス提供のプロセスやコミュニケーション、価格を改善することに力を注ぐ。

評価基準のカテゴリー

C－１　調整. 意識調査、インタビューなどの調査で我々のパフォーマンスとCNI, NAVSUP及びHQMCの期待度を計測し、部隊間の調整をモニターする。

C－２　顧客の満足. FacTS意識調査や顧客から直接意見を得る方法を使い、顧客満足度をすべてのワーク・プロセスのステップにおいて調査する。

NAVFACの成功は軍から他の政府機関に存在する、顧客の成功を基礎としている。

On time. on target. on budget.

業務

経済効果性にすぐれ、プロフェッショナルな、即応力ある施設管理。

施設チーム目標

我々は高価値で完全に統合され、技術を有効活用した施設エンジニアリングと公共事業支援を提供する。我々は海軍建設部隊に効果的な戦闘に必要な設備と物資を提供する。

戦略

統合された施設管理支援. 海軍内におけるすべての公共事業と施設技術支援機能を集約する、統合部隊を設立する。海軍において唯一の公共事業支援のモデルを設立する。

実行. 高品質な製品やサービスを経済効率よく、タイムリーに提供する。統制のとれた有能でやる気のあるチームに仕事を与え、高価値の製品、サービスを提供する。

人材支援. 我々は海軍において、人材支援能力を保持する部隊の先駆けとなる。我々のプロセス、製品及びサービスが柔軟で、いつでもどこでも高価値の製品、サービスを提供できるよう相互運用可能になることを約束する。

安全. 業務危機管理概念を守り、事故を防ぎ、安全な職場環境を保障する。事故の原因を特定する方法を制度化し、広い範囲で反省を共有する。

プロフェッショナルな協力. 我々の産業とパートナーである政府機関と協力して仕事の流れをスムーズにし、不必要な基準や価値の生まないプロセスをなくす。

シービーサポート. シービーの後方支援が戦闘部隊の要求を満たすことを保証する。離れた場所における技術支援を提供する能力とスピードを向上する。

非常時対応エンジニアリング. 非常時に備えた技術サポートが重要視されるとともに、コスト効果性が十分配慮されることを約束する。

海軍予備役を業務上の効果を高めるために完全に統合する。

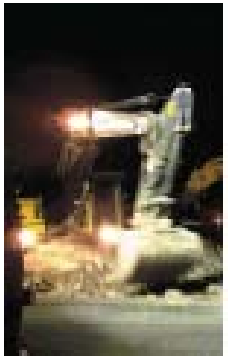
評価基準のカテゴリー

O－１　実行. プログラム、プロジェクト及びサービスの実行が計画通り進んでいるか評価する。再編が計画通り進んでいるか評価する。

O－２　安全. 軍人、軍属、契約従業員の事故データを採り、その事故による経費を計測する。

O－３　調達. 電子注文、ペーパーレス化、全般的な処理の削減を含む調達プロセスを調べる。

O－４　シービーサポート. シービー後方支援システムの継続した改善と、所有する機材の効果性を評価する。



NAVFACの特異で行動力のある労働力が安全を常に考慮し、ハイクオリティーな仕事を提供する。慎重にする仕事習慣が低価格を実現する。

統合中核能力

統合中核能力専門知識は、時間、資金、資源を節約する

私たちは、平和な時も戦時下あるいは戦争以外の軍事行動時においても様々な能力を駆使して我々の使命を遂行する。 これらの中核能力は、我われのビジネスラインを通じて顧客に提供され、製品及びサービスの広く安定した基礎を形成する。 中核能力の大統合は海軍にとって、本質的な寄与である。

コマンドビジネスライン

パブリックワークス

環境

資本改善

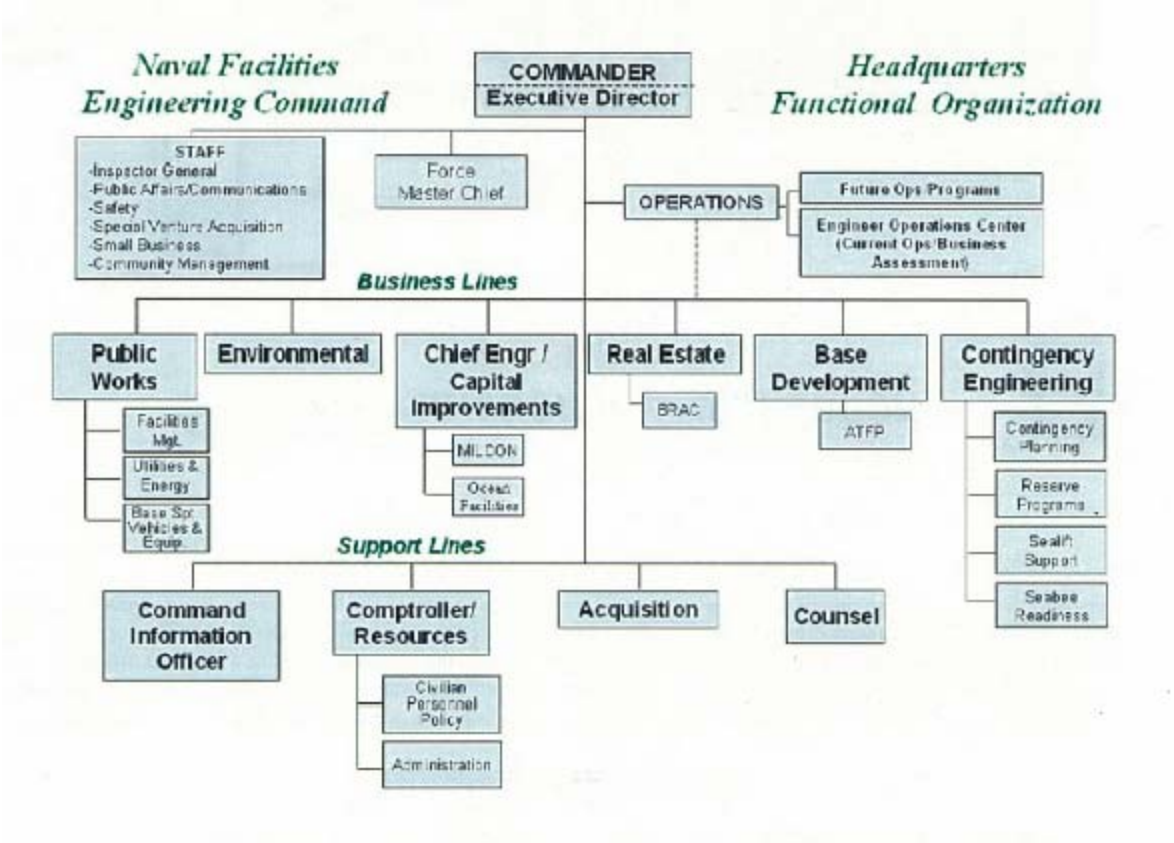
不動産

基地開発

非常時対応エンジニアリング

再編

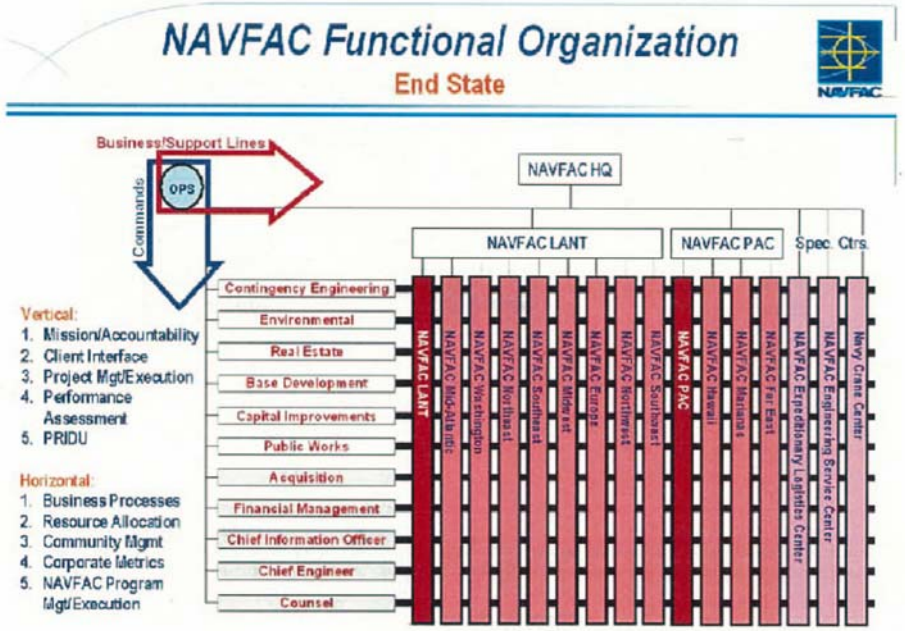
海軍施設技術部隊の運営方針は、近隣に展開する全ての部隊の業務の水平的統合や支援体制に注目している。 私たちの業務あるいはサポートラインを全面的に支援する海軍施設技術部隊本部の構成は、私たちの再編の必須要素である。



機能上調整

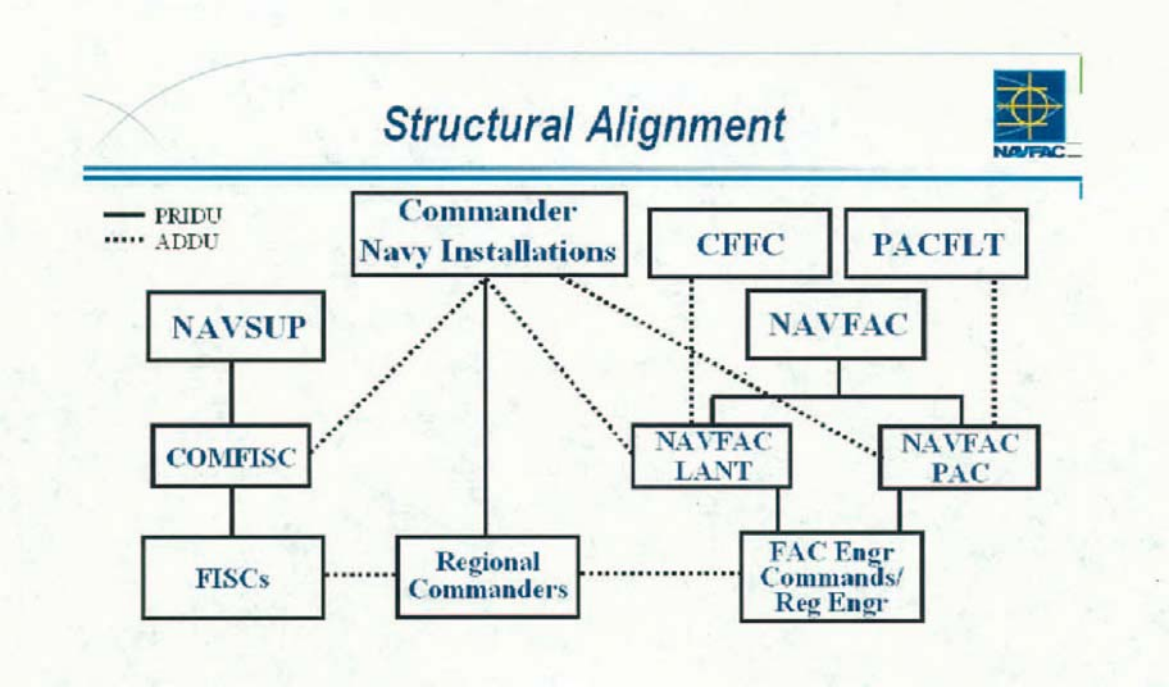
海軍施設技術部隊はマトリックス組織として運営する。 海軍施設技術部隊の機能上調整は“水平的”ビジネスライン、サポートライン及びコミュニティー管理による全事業部門の統合を目的としている。下記の海軍施設技術部隊機能組織図は簡潔にこの概念を表している。 海軍施設技術部隊は顧客に施設支援をするという任務がある一方 、ビジネスとサポートラインは、全事業部門に渡って標準化されたアプローチをもって業務遂行を約束する。またそのために、ビジネス・ライン、サポート・ラインは、共通のプロセス、資源割り付けおよび評価基準を提供する。同様に一定のコミュニティー管理プロセスは、労働力の充実およびキャリア開発への全事業部門に渡るアプローチによって “水平的” 統合を支援する。

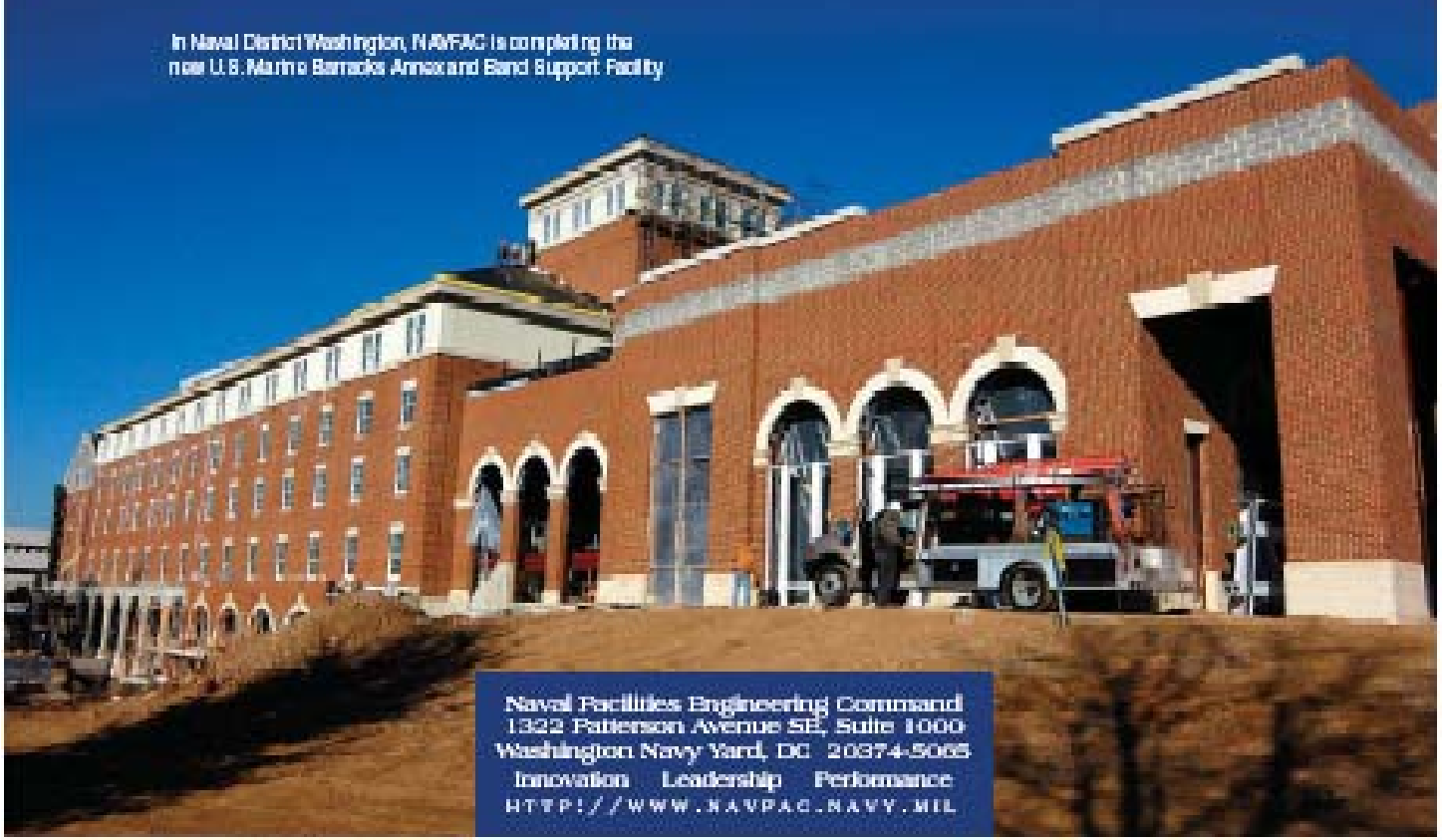
海軍施設技術部隊機能組織図



構造調整

海軍施設技術部隊の再編は、海軍施設技術部隊内外の関係を改善し、陸上基地管理をする際に海軍基地指令への援助を著しく増強する大胆な構造を含んでいる。 私たちの再編は、さらに、スペシャルセンターを除く海軍施設技術部隊のコンポーネントコマンドを組み合わせて地域統合指令の責任能力および即応性を改善するために, 二つの第三段階指令の下に施設技術部隊を置き調整させることを含んでいる。
この調整は海軍施設技術部隊の製品とサービスの効率、有効性および製品提供、節約を改善し、海軍および海兵隊上級リーダーに還元させることができる。 施設技術部隊は2004年度から2006年まで、段階的に再編されている。施設技術部隊司令官は, 海軍技術部隊アトランテックおよび海軍技術部隊パシフィックに主要な業務、および追加業務についても地域統合指令に報告を行っている。
同じ地理的な地域内で活動するPWCやエンジニアリング・フィールド・ディブィジョンは施設技術部隊にと移行し、すべての海軍施設術部隊のエンジニア製品やサービスは旗竿が取り除かれ、単一で提供されるようになる。
施設技術部隊は, 海軍および海兵隊が焦点としている地域統合要求事項を容易にする ; 支援境界を越えて ; 共通のビジネスにおいて ; 標準化されたプロセスの世界的な導入において ; 無駄の除去において。海軍における施設技術部隊のポジションは、一つの公共事業製品提供モデルを創造する。



“本当に大切な事は、今日の我われの強さではなく、むしろ、明日の強さを確実にする為に、今アクションを起こす事です。“

アイゼンハワー、第34代アメリカ合衆国大統領